

## 第3回「つながない権利」に関する有識者会議

[ ネット社会において思いやりにあふれた自律的な生活を確保するために ]

令和2年2月10日  
神戸市企画調整局企画課



1. 委員一覧
2. 本日のアジェンダ
3. 第2回有識者会議の議論（振り返り）
4. 報告書（案）【別紙】



# 1. 委員一覧

| 氏名     | 所属                   |
|--------|----------------------|
| 岡田 豊基  | 神戸学院大学法学部教授          |
| 加藤 真由美 | NTTデータ経営研究所シニアマネージャー |
| 小舟 賢   | 甲南大学法学部准教授           |
| 関根 由紀  | 神戸大学大学院法学研究科教授       |
| 竹内 和雄  | 兵庫県立大学環境人間学部准教授      |
| 中林 志郎  | 神戸商工会議所専務理事          |
| 林 直樹   | 兵庫県経営者協会専務理事         |

(敬称略、五十音順)



## 2. 本日のアジェンダ

BE KOBE

| # | テーマ                     | 担当       |
|---|-------------------------|----------|
| 1 | 神戸市長挨拶                  | 市長       |
| 2 | 第2回有識者会議振り返り            | 事務局      |
| 3 | 子どものネット依存に関する神戸市の取組について | 教育委員会事務局 |
| 4 | 竹内委員からの報告               | 竹内委員     |
| 5 | 自由意見                    | 各委員      |
| 6 | 報告書（案）の説明               | 事務局      |
| 7 | 自由意見                    | 各委員      |
| 8 | まとめ                     | 座長       |



### 3. 第2回有識者会議の議論（振り返り）

|   |   |
|---|---|
| <p>先行事例の紹介<br/>【働き方改革と<br/>つながらない権利について】</p>    | <ul style="list-style-type: none"><li>■ 諸外国における、「つながらない権利」に関する法整備状況や民間企業の取組を紹介</li><li>■ 神戸市に拠点を置く企業を含む、日本国内の民間企業における「つながらない権利」に係る取組を紹介</li></ul>   |
| <p>勤務時間外における<br/>仕事への対応</p>                     | <ul style="list-style-type: none"><li>■ 海外では、休日を含む勤務時間外に仕事をしないということが当然のこととなっており、メール等についても、勤務時間外に対応をしないということが一般化している</li><li>■ 技術革新により、いつでもどこでも仕事をするのが可能となっているため、従業員の健康に配慮する観点から、オンとオフを区別するようなルールをつくるのが重要ではないか</li></ul>               |
| <p>子どもの<br/>ネット依存による悪影響</p>                     | <ul style="list-style-type: none"><li>■ 子どもたちの学力や体力の低下の背景にはネットへの依存があり、子どもたちの「つながらない権利」だけでなく、大人がつながせないということも重要である</li><li>■ ネットゲーム等を通じて、子どもが大人と関わりを持つ機会も増えており、子どもが事件に巻き込まれるケースも生じてきている</li></ul>                                       |
| <p>ネットに囚われない<br/>子どもの過ごし方</p>                   | <ul style="list-style-type: none"><li>■ 子どもたちが外で遊ぶことは危険性等のリスクを伴うものではあるが、子どもがネットから離れる時間をつくるためにも、子どもたちが安心して外で遊べるような環境づくりが必要である</li></ul>  |
| <p>大人と子ども<br/>双方にとっての<br/>「つながらない権利」<br/>とは</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>■ 大人と子ども双方とも、ネットから離れること（デジタルデトックス）が必要であり、「つながらない権利」だけでなく、「つながせない義務」といったことについても考えていかなければならない</li><li>■ 神戸が働きやすく、文化・芸術が楽しめる暮らしやすいまちとなることが、大人と子ども双方に良い影響をもたらし、神戸がえらばれるまちとなることにつながるのではないか</li></ul> |



# BE KOBE



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization

City of Design  
**KOBE** 

Member of the UNESCO  
Creative Cities Network  
since 2008

